



先月のカスタネット通信で「オギジビは6周年」と書きましたが、2026年は周年記念が多いのではないかと考えています。まずは「生誕100年」の安野光雅さん、かこさとしさん。ちなみにエリザベス二世やマリリン・モンローも同年に生まれています。反対に没後100年を迎えたのが、アントニ・ガウディです。先日ついにサグラダ・ファミリア大聖堂の「イエス・キリストの塔」が完成したというニュースが流れていました。

そして人物ではありませんが、オギジビ文庫でもたくさん所蔵している月刊絵本「こどものとも」は創刊70周年です。「周年記念」となるとさまざまなイベントが催されることが多く、出かけて行っているのも今月号もそのおはなしを書きたいと思います。

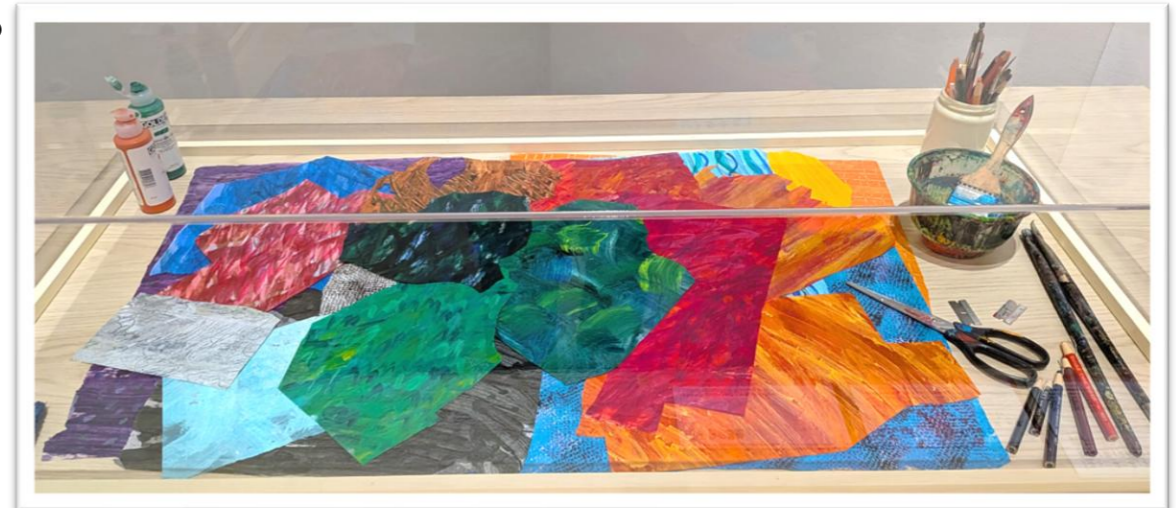
はらぺこあおむし 🍎 🍐 🍇 🍓 🍎 🍐 🍇 🍓 🍎 🍐 🍇 🍓 🍎 🍐 🍇 🍓 🍎 🍐 🍇 🍓

日本語版の刊行から50周年を迎えたのが「はらぺこあおむし」です。それを記念し、東京都現代美術館では現在「エリック・カール展 はじまりは、はらぺこあおむし」が開催されています。

展覧会の目玉はもちろん「はらぺこあおむし」の原画ですが、その「はらぺこあおむし」が、**Hungry**(空腹の)、**Busy**(忙しい)、**Quiet**(静かな)、**Lonely**(孤独な)、**Clumsy**(不器用な)な虫たちを主人公にした5冊の「**The Very**」シリーズの中の1冊であることを初めて知りました。

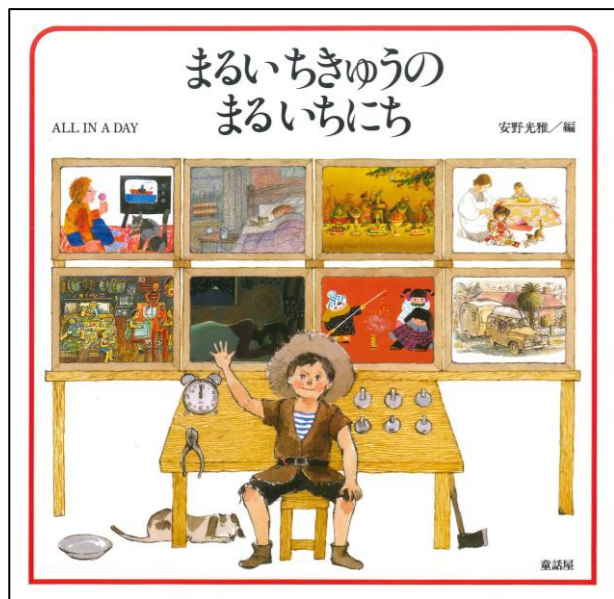


展示では英語と日本語の文が併記されており、原題「The Very Hungry Caterpillar」が「はらぺこあおむし」、「The Very Busy Spider」が「くもさんおへんじ どうしたの」と訳されていました。「はらぺこあおむし」はまだしも「くもさんおへんじ どうしたの」の方はbusyはどこいったの? と思いましたが、絵本を読めばお返事ができないほど忙しかったんだね、と理解できます。子どもが惹きつけられ興味を持つように絵本を翻訳するためには、その国の文化に精通し、自在に言語を操る訳者の力は不可欠だなと感じながら展示を見て廻りました。そうしたら、外国の方が日本語訳をした絵本もあり、またまた驚きました。



手彩色の薄紙。これらを切り抜き、原画を描いていたそうです。あおむしの身体の色っぽい紙、顔の色っぽい紙、太陽の色っぽい紙があります。あおむしの毛は色鉛筆で描いていました。

さて、カールさんは絵本を作る時にまず白い紙に色鉛筆（クレヨン?）でスケッチしたダミーブックというものを作り構図を決めてから、薄紙に自ら色付けをした色紙を素材としてコラージュし、原画を作成していたそうです。コラージュといえば、カスタネット通信2025年8月号で展覧会についてご紹介したレオ・レオニさんもコラージュ技法を使っていたな、と思ったのですが、なんとニューヨークで仕事を求めているカールさんが自分の作品を持ってレオ・レオニさんに会いに行き仕事をもらったというエピソードが紹介されていました。積極的に行動するという事は、時に大きなチャンスをつかむことにつながるのかもしれない。



たくさんの原画をみながら会場を進んでいくと、表紙が赤い四角で囲まれている「安野さんっぽい」絵本がありました。「まるいちきゅうのまるいちにち」という、安野光雅さんが世界8カ国8人の絵本作家に呼びかけて一緒に作った本でした。その中でアメリカの部分を描いたのがエリック・カールさんでした。こういった絵本作家同士のつながりを知ることもおもしろいと思いました。

コラージュのはなしに戻りますが、以前読んだFoundation of Aural Rehabilitationという聴覚障害の本に、グループ指導の自己紹介の場面で自画像を描く、あるいは雑誌から切り取った写真を使ってコラージュを作ることがあると書かれていました。その作品から、聴覚障害がその人の生活に与える影響を読み解くということのようです。それは難しいので取り入れる予定は無いのですが、SNSでよく見かけるように家に溜まっていくチラシや包装紙などを切り抜いてコラージュし、リメイクするのは楽しそうです。

私がこの展覧会で素敵だなと思ったのは、熱帯雨林で暮らすナマケモノやワニ、アリクイなどが出てくる絵本「ゆっくりがいっぱい！」です。紹介文には、エリック・カールさんが忙しすぎて、なにもかも嫌になった時に制作したというエピソードが書かれていました。エリック・カールさんでも嫌になっちゃったんだなあ、でも絵本は作ったんだなあ、と思いました。熱帯雨林の濃い緑や鮮やかな花からは元気がもらえます。



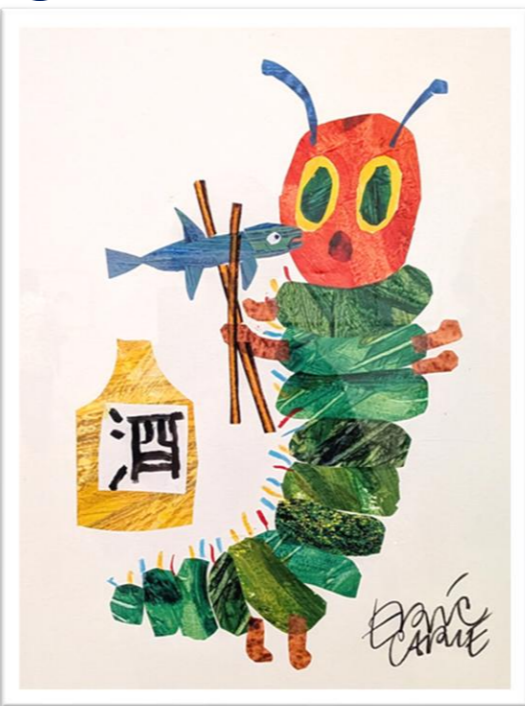
①



②



③



④



① あおむしと一緒に写真が撮れます。

② 絵本が読めるコーナーもありました。

③ あおむしと魚の目が合っている！

④ 東日本大震災 被災児童支援のチャリティオークションに出品したアートワーク。

エリック・カール展は7/26まで開催しています。相模原からだとは若干遠いのですが、ご興味を持たれた方はぜひ行ってみてください。

オギジビ文庫 🍎🍐🍇🍓🍎🍐🍇🍓🍎🍐🍇🍓🍎🍐🍇🍓🍎🍐🍇🍓

私がいるST室①は本棚に近いので、「サンドイッチないよ…」というさみしげな声が聞こえてくることもあり、そのたびにゴメンね…と思っていました。しかしついに、しばらく留守をしていた大きなサンドイッチサンドイッチが復活しました。

さて、今年度のテーマ「教科書掲載本」と「今ある絵本作家の別の本」は楽しんでいただいていますか？大人の方が手に取り絵本を広げている姿を見かけると、「懐かしいですね？」とお声がけしたくなります。今後も懐かしの本が続々登場予定ですので、楽しみに！

